

# 水文・気象学的アプローチによる台風 19 号の解析と 三重県を中心とした被害報告

葛葉泰久<sup>1),2)</sup>・水木千春<sup>2)</sup>

1) 三重大学 大学院生物資源学研究科

2) 三重大学 地域圏防災・減災センター

## 1. 序論

本稿では、2019 年台風 19 号に関し、「水文・気象学的アプローチによる解析結果」と、「三重県を中心とした被害」について報告する。前者については、台風 19 号の降水の確率的規模と、気象モデル WRF を使用した解析結果について報告する予定であるが、2020 年 01 月 24 日 12:00 現在、解析を行っている途中なので、本バージョンでは割愛する。3 章で、後者についてだけ報告する。

## 2. 水文・気象学的アプローチによる解析結果

上述のように、本バージョンでは割愛させていただく。

## 3. 三重県の被害報告

### (1)概観（三重県防災対策部資料より引用、2019 年 11 月 29 日現在の数字）

10 月 11 日から 13 日にかけて台風第 19 号の影響により、三重県では強い風が吹き、非常に激しい雨が降った。降り始めの 11 日 12 時から 12 日 21 時までの総雨量（アメダス速報値）の多いところは、志摩市阿児 409.0mm、鳥羽 300.5mm、南伊勢 289.0mm の降水量を観測した。なお、解析雨量については、伊勢市付近で総降水量 600mm を超えたところがあった。主な被害としては、軽傷 3 名、住家浸水 60 棟などが記録されている。

### (2)被害状況の詳細（三重県防災対策部資料より引用、2019 年 11 月 29 日現在の数字）

#### A. 人的被害

○死者、行方不明者、重傷者は報告されていない。

○軽傷者 3 名が報告されている。それぞれ、下記のような状況である。

風にあおられて転倒、右上腕を負傷したケース

風にあおられて転倒したケース

歩行中、風にあおられて転倒したケース

#### B. 住宅被害、土砂被害

○住家については、・床上浸水 32 棟（伊勢市 20 棟、鳥羽市 3 棟、志摩市 9 棟）、床下浸水

28棟（伊勢市1棟、志摩市27棟）が報告されている。

○非住家については、浸水11件（伊勢市7件、鳥羽市4件）、一部損壊28件（伊勢市1件、伊賀市9件、桑名市1件、志摩市17件）が報告されている。その他、紀北町の長島港大石灯台が風浪により倒壊したことが報告されている。

#### C. 土砂災害

1件（津市1件）が報告されている。

#### D. 公共土木施設

公共土木施設の被害は、被害概算額 合計 2,334,200千円であった。内訳として、県管理施設分が計 1,731,000千円、市町管理施設が、計 603,200千円であった。なお、施設の種類ごとの内訳は以下のとおりである。

##### ○道路

###### 【県管理】

3箇所 58,000千円

- ・一般県道赤目滝線（名張市）他

###### 【市町管理】

13箇所 146,500千円

- ・町道五ヶ谷線（大台町）他

##### ○河川

###### 【県管理】

45箇所 1,493,000千円

- ・一級河川横輪川（伊勢市）他

###### 【市町管理】

31箇所 456,700千円

- ・準用河川五十鈴川（伊勢市）他

##### ○海岸（県管理）

4箇所 175,000千円

- ・阿田和地区海岸（御浜町）他

##### ○砂防設備（県管理）

1箇所 5,000千円

- ・一級水系宮川水系島路川（伊勢市）

(3) 伊勢市の被害状況（伊勢市危機管理部提供の写真）

伊勢市では、下記のような浸水被害があった。



謝辞： 本報告をまとめるにあたり，三重県（防災対策部，県土整備部），伊勢市（危機管理部），津气象台にお世話になった。深謝する次第である。